

いつでもどこでも 起こり得るのが地震です!!



〈一色町の地割れ〉



〈深溝断層（一色町）〉

断層地震について

昭和20年1月13日午前3時38分ごろ、M7.1の大地震が三河地方に発生し、死者は約2千人を数えました。震源が非常に浅く、ごく狭い範囲で強烈な揺れに襲われ、地表に断層が現れました。この断層は深溝断層と命名され、蒲郡市形原町から幸田町深溝を経て西尾市まで続いています。断層の西側が15m隆起し、被害は断層を中心に、その近辺に集中しています。

活断層とは？

過去に繰り返し活動していて、今後も再び活動すると考えられる断層です。

この断層運動の繰り返しにより、山の尾根や谷の断層に沿った食いだいや、がけなどが直線的に連なった特徴的な地形がつけられます。日本には約2千の活断層があると推定されます。岩手・宮城内陸地震は、ぶつかり合う断層が両側から押されることにより、断層面が上下にずれて起きる「逆断層型」だったとされています。

備えは大丈夫ですか？

昨年度市民の方に防災意識調査を行ったところ、9割以上の人が、災害の中で地震を一番不安に思っており、今後10年以内に蒲郡市で大規模地震が発生すると思う人は56・5%にのぼります。しかし、家具などの固定を全くしていない人は49・5%もありました。その一番の理由は手間がかかるということ、対策を後回しにしているということがわかります。

大規模地震の発生は明日かも知れません。万全の対策はないかもしれませんが、行うべきことを行うだけで被害は大きく軽減できます。今すぐ備えましょう。

☆非常持ち出し品の用意

食料関係（飲料水・乾パン・缶詰など）、救急薬品、衣類（下着・タオルなど）、貴重品（現金・通帳など）、日用品など

☆家具の固定

☆地域の人たちとの交流を大切に
いざという時に頼りになるのは、隣近所の皆さんの力です。日ごろから地域のコミュニケーションを大切におきましょう。